



3月17日 新たに野々市ブランドに認定された「ののいち草木染」と制作する市商工会女性部の皆さん（写真中央）

ごあいさつ

令和2年4月8日

「令和」になっての初めての4月を迎えました。新元号が決まったのが一年前、すっかり私たちの生活に「令和」が馴染んでいます。

そして、入学や就職など新たな門出を迎えられた皆さん、おめでとうございます。希望を胸に新たな一歩を踏み出されたことと思います。それぞれの舞台でのご活躍、心よりお祈り申し上げます。

穏やかな天候に、桜も満開となっていますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況の中では、気持ちも晴れません。

2月以降、椿まつりをはじめとした様々な行事の中止や、延期といった対応を取らせていただきました。とりわけ、3月3日からの市内小中学校の臨時休業は、児童生徒の皆さんや、保護者、学校関係者の皆さんには、大きなご負担を強いることになったかと思えます。緊急的な対応でもあり、戸惑いや不安もあったことと思いますが、ご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

県内での感染者数が日増しに増え、日々刻々と変わる状況に対応するため、本市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議も継続的に開催しております。会議で決定されたこと、確認していることなどは、市ホームページや、「ほっとHOTメールののいち」を通して、市民の皆さんにしっかりと発信してまいりますので、ご確認をお願いいたします。

3月議会も終わり、新年度予算も決まりました。事業の見直しも含め、経常経費の削減に取り組みながら、子育て施策や防災施策などさまざまな事業に予算を分配させていただきました。

そのなかでも、「学びの杜ののいちカレード」と昨年オープンした「にぎわいの里ののいちカミーノ」を活用しながら、この二つの拠点をつなぐ北国街道のにぎわい創出プロジェクトにさらに力を注ぎたいと考えております。

加えて、北国街道に関連する事業は、市制施行以来、進めてまいりました「市民協働のまちづくり」が実践できる舞台でもあると考えています。市民の皆さんの知恵と工夫をお借りしながら、これからの野々市を象徴するような取り組みができれば、と思っております。

新型コロナウイルスの猛威は今も、予測のつかない状況にあります。それぞれの国や地域で工夫を凝らした対応がなされていますが、いちばん大切なことは、私たち一人ひとりが自分の行動に責任を持つことです。自分の命や、家族をはじめとした大切な人たちの命を守ることを意味に改めて気付かされ、「普通である生活」のありがたさを感じています。

しっかりとした感染予防、「密閉」「密集」「密接」を避けること、規則正しい生活など、できることを徹底的に心がけていただきたいと思います。

一日も早い収束を願うばかりです。